

## 第 11 回「震災対策技術展」東北において講演・展示を行いました (2023/4/26-27)

テーマ：自然災害対策技術展

会場：JR 仙台駅前 AER ビル 5、6 階（仙台市中小企業活性化センター）

URL：<https://www.shinsaexpo.com/tohoku/>

2023（令和 5）年 4 月 26 日（水）～27 日（木）の 2 日間にわたり、JR 仙台駅前の AER ビル 5、6 階（仙台市中小企業活性化センター）にて、第 11 回「震災対策技術展」東北一自然災害対策技術展一が開催されました。「震災対策技術展」は 1997 年の神戸での開催以降、日本各地で開催されてきました。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響によりしばらく開催が見合わされていたため、東北では今回が 4 年ぶりの開催となりました。

災害科学国際研究所は、ブース展示と所属教員による講演（セミナー）を行いました。会期中には両日合わせて延べ 2,214 名の方が来場され、当研究所の展示ブースにも多くの方が立ち寄って下さいました。ブース展示では主に、当研究所および災害レジリエンス共創センターの趣旨と組織概要、ならびにイオン防災環境都市創生共同研究部門と地震津波リスク評価（東京海上日動）寄附研究部門で進めている研究の成果や取り組みについて、来場者の皆様に説明しました。展示の説明ならびにブースの設営等は、当研究所の展示 WG に所属するメンバー（ゲルスタ・ユリア助教、内田典子助教、富田史章助教、田邊亜澄助教、濱家由美子助教、新家杏奈助教、齋藤 玲助教、凌 国明助教、スクンタナソーン・ナルテープ助教、高橋尚志助教）で実施しました。

また、会期内に行われた当研究所教員による講演（セミナー）のタイトルは下記の通りです。

### 【講演】

- ・今村 文彦 教授 「東日本大震災から 12 年 - 復興と防災への課題」
- ・丸谷 浩明 教授 「事業継続マネジメント（BCM）の必要性と対応方法」
- ・遠田 晋次 教授 「トルコ大地震と日本の活断層地震」
- ・佐藤 翔輔 准教授 「東日本大震災の伝承と 震災で得られた教訓を 次世代に活かす」
- ・高橋 尚志 助教 「2022 年 7 月の宮城県北部における河川氾濫とその地形・地質学的背景」

産・官・学の防災関係者が一堂に会し、コロナ禍以前の雰囲気に近い活気あふれる展示会となりました。



今村文彦教授



丸谷浩明教授



遠田晋次教授



佐藤翔輔准教授



高橋尚志助教



展示ブース